

## 第1 地価公示結果における本県地価のポイント

1 令和7年1月1日における本県の地価は、住宅地、商業地、工業地のいずれも4年連続で上昇したものの、上昇率は縮小した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地では2.3%（昨年2.8%）、商業地では3.7%（昨年4.2%）、工業地では3.9%（昨年4.1%）上昇した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では、上昇地点が82.7%（昨年83.0%）、横ばい地点が10.1%（昨年9.0%）、下落地点が7.2%（昨年8.0%）となった。  
また、商業地では、上昇地点が88.9%（昨年90.5%）、横ばい地点が7.7%（昨年6.0%）、下落地点が3.3%（昨年3.5%）となった。

2 地域別の地価は、住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域で上昇率が縮小し、東三河地域は横ばいであった。また、商業地では、名古屋市、西三河地域及び東三河地域で上昇率が縮小し、尾張地域及び知多地域で上昇率が拡大した。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では、名古屋市で3.6%（昨年4.5%）、尾張地域で2.0%（昨年2.1%）、知多地域で1.8%（昨年2.3%）、西三河地域で2.2%（昨年3.2%）上昇し、東三河地域で0.0%（昨年0.0%）と横ばいを示した。  
また、商業地では、名古屋市で5.0%（昨年6.0%）、尾張地域で3.0%（昨年2.7%）、知多地域で2.0%（昨年1.7%）、西三河地域で3.1%（昨年4.1%）、東三河地域で0.9%（昨年1.2%）上昇した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では、大府市など42市町（昨年44市町）で上昇したが、南知多町など6市町（昨年6市町村）で下落した。  
また、商業地では、大府市など38市町（昨年38市町）で上昇したが、南知多町など6市町（昨年6市町）で下落した。
- (3) 名古屋市各区の平均変動率をみると、住宅地、商業地ともに全ての区で上昇した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では、「名古屋熱田-4（高蔵町）」（10.6%）、商業地では、「名古屋千種5-5（今池1丁目）」（14.2%）であった。  
一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では、「南知多-5（師崎）」（△5.4%）、商業地では、「西尾5-7（東幡豆町）」（△4.8%）であった。

- (1) 住宅地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市熱田区及び千種区の地点となった。  
また、商業地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市千種区及び大府市の地点となった。
- (2) 住宅地では、変動率下位5位までの地点は南知多町、美浜町及び西尾市の地点となった。  
また、商業地では、変動率下位5位までの地点は西尾市、南知多町及び美浜町の地点となった。